

# 少年センターだより

「湖南省少年センター・あすくる湖南」

【所在地】 〒520-3195 湖南省石部中央一丁目1番1号

湖南省役所西庁舎 別棟2階

【悩み相談】 Tel 77-7053 Fax 77-7059

【e-mail】 ask-7053@city.shiga-konan.lg.jp

湖南省少年センターHPにカラー版  
や翻訳版を掲載中。  
QRコードで簡単アクセス!



## 100回の「やめなさい!」より、1回の「だいじょうぶ?あなた?」

湖南省少年センター 所長 川邊 晋



当センターは平成17年に開所し、甲賀警察署をはじめ、少年補導委員や支援サポーターの皆様等のおかげで、19年目を迎え、その間100号の少年センターだよりを発行してきました。未来を担う青少年が、夢や希望を持ち、生きる目標を見つけ、心身ともに健やかに成長できるように支援してきました。今後ともよろしくお願いたします。

さて、数値的には非行や犯罪は減少しているものの、虐待、いじめ、非行の低年齢化など課題は多様化、複雑化しているのが現状です。また、急速に普及したスマホ等の情報通信環境の変化、有害な情報の氾濫等、青少年を取り巻く環境は、大変厳しいものがあります。また、子どもたちは、コロナ禍において様々な影響を受けてきました。コミュニケーション力の低下、自死や不登校の増加も指摘されています。

このような今日的課題の中で、知らず知らずのうちに、非行・犯罪・事件に巻き込まれないように青少年の健全育成に努めるのは私たち大人の責務です。特に、スマホ・SNSの中に、性被害・闇バイト・大麻など落とし穴がたくさんあります。この便利なツールを、子どもたちに、いかに有益に、健全に使用させるかがポイントです。学校をはじめ、様々な団体・組織が、スマホの正しい使い方を学べる機会を作っていくことが求められています。また、心配な子どもたちには、100回の「やめなさい!」より、1回の「だいじょうぶ?あなた?」が効果的です。主語は「あなた」で迫り、「だいじょうぶ?」と寄り添うことから、彼らとの話し合いを始めてみてください。

### 相談ごとや悩みごとはお気軽に

— 学校生活や家庭生活、就学や就労など、少年に関わる悩み相談 —

#### ■相談日・時間

月曜日～金曜日（年末年始、祝祭日を除く） 9:00～16:00

#### ■相談の方法

・来所相談・電話相談・メール相談

☆カウンセラーへの相談をご希望の方は、必ずご予約ください。

毎週金曜日（年末年始、祝祭日を除く） 13:30～16:00



## 川邊所長のもと、今年度もこのメンバーでがんばります。



あすくる支援コーディネーター

**廣瀬 久忠**

あすくる湖南が少年にとって心の居場所のひとつとなるよう少年たちに寄り添います。安心と少しの勇気が積み重なりますように。



指導主事

**辻 龍也**

社会の宝である少年たちが、自らの人生を自らの選択で歩んでいけることを願っています。



無職少年対策指導員

**首藤 勲**

少年センター2年目。少年たちが抱える「しんどさ」を一步一步乗り越えられるよう、地道に寄り添って支えていきます。



心理臨床担当職員

**山田 洋美**

相談に来られた方を温かく受け入れ、話に耳を傾けることを大切にしたいと思います。笑顔で自分らしい一歩を踏み出せるように。

「薬物乱用防止啓発標語」

ダメゼッタイ 薬物乱用 もどれない

川添 暖留 さん （令和4年度水戸小学校卒）

## 「少年センターだより」100号に寄せて

湖南省教育長 松浦 加代子



湖南省少年センターにやって来る少年達。小中学生の頃には、学校へ行き渋っていた少年・高いエネルギーをいわゆる問題行動として発出していた少年…。皆、大人の温かな言葉や関わりによって、通所当初の硬い表情が溶けていくという。少年センターには、彼らが通ってくる「何か」があるのだろう。

これまでその少年達に関わってきた保護者・教職員・地域の人、誰もが「どうしたものか」と、少年のよりよい未来について一生懸命に考え、さまざまな方針を立て実行してきた。けれども、その頃には、少年が安心感を十分に得ることはできなかったのだ、ととらえている。

教育長として私は、義務教育終了後にも自死しない人を育てる教育を目指すことを掲げている。リスキリング(学び直し)が強調される昨今、「自ら何とかしようとする自分」とともに、「誰かに相談できる自分」を育てておく必要がある。小中学校時代にはそんな自分には至らなかったとしても、湖南省には、学齢期終了後にもつなぐことができる「たて・よこ・ななめにすき間なく、どの子ももらさない支援体制」がある。

その一環として、少年センターの存在は光っている。これからも、少年達の道を照らし続けてほしい。



### 「地道な取り組みの中で」 ～これからの少年センターに向けて～

湖南省少年補導委員会 会長 武藤 敬助

この度「センターだより」が記念すべき100号を迎えられたことに敬意を表しますと共に、これまでのご苦労・ご尽力に感謝申し上げます。

私が補導委員を仰せつかって30年になりましたが、就任当時は、深夜徘徊、シンナー遊び、窃盗等結構非行数が多かったように思います。若者たちがコンビニの前で夜遅くまで座り込んで騒いでいたこともありました。私たち補導委員は、少年センター職員と共に深夜まで巡回していました。今はどうでしょう。夜街頭パトロールに出ても少年の姿はほとんどありません。屋外での目立った行動が少なくなった反面、SNSをはじめとする表面に出ない行動が目立ってきました。

少年センターは、いじめ・不登校・非行といった子どもや若者とその保護者が抱える悩みに対する相談活動をはじめ、非行や不良行為を行っている者に対する街頭補導、有害環境の浄化活動、広報啓発活動、就労支援、居場所づくりなどの活動を行っています。日常的には目立たない部分が多く、地道な活動ではありますが、とても大切な役割をもっています。今日青少年を取り巻く環境は大きく変化してきています。それだけに少年センターの担う役割は大きいものがあります。これからも地域関係諸機関と共に、積極的に取り組んでくださることを願います。

## 「少年たちを支える警察と少年センターの協働」

甲賀警察署少年補導職員 安井 美紀



少年センターだより100号、おめでとうございます。この春から甲賀警察署にて勤務しております安井美紀と申します。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、「非行少年に対する支援について、警察と少年センターとどう違うのですか？」と質問を受けることがあります。あまり知られていませんが、実は警察でも少年センター・あすくと似た非行少年との面談など、立ち直り支援を行っております。そのことをお伝えすると、先の質問となるわけです。

簡単に説明すると、警察では比較的短期間、非行や問題行動に特化して行動の改善を目指して関わるのに対して、少年センター・あすくでは、中長期に亘り、勉強したり、悩みに寄り添ったり、進路を一緒に考えたりと、少年に生きる力をつけさせることによって問題行動から遠ざける取組を実施しています。

これらは、「どちらが良い」ではなく、個々の少年について必要な支援を判断していくこととなります。今後も、湖南省の少年たちの成長を支えるため、湖南省少年センター・あすくと協働していきたいと考えております。

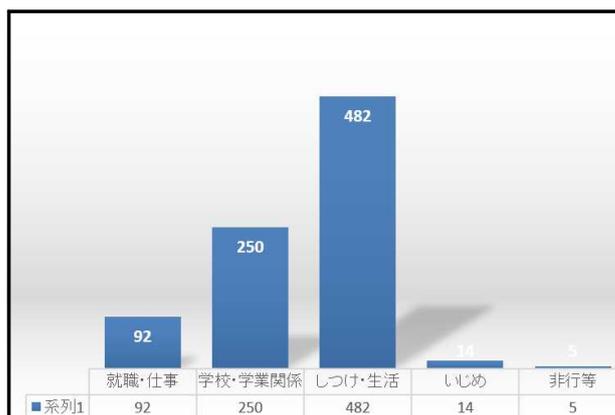
「薬物乱用防止啓発標語」

あぶないよ だまされないぞ ドラッグに  
橋口 悠愛 さん (令和4年度石部南小学校卒)

## 少年センターの令和4年度を振り返って

### ★相談延べ件数 前年から267件増の843件

令和4年度の相談件数は延べ846件(男子698件、女子145件)あり、コロナ禍から少しずつ社会が動き出したことに伴う大きな件数増がありました。相談内容では、「しつけ・生活」(482件)が最多で、「学校・学業関係」(250件)、「就職・仕事」(92件)の3つが、ここ数年同様、相談内容の大半を占めました。相談に来所する少年の中には、表面化している課題の背景に、だれにも打ち明けられない思いや悩みを抱えているケースも多くあり、少年の思いに寄り添い、少年センターが少年たちの「居場所」となるよう努めてきました。相談者の課題やニーズの多様化はますます進んでおり、専門機関等との連携が欠かせなくなってきました。中学校等との連携を強化しながら、できる限り早期から少年たちが抱えている課題に対応していく体制の強化も必要になっていきます。



### ★無職少年への支援が増加

就労を目指した無職少年への支援が増加しています。多くの少年たちに、就労以前に必要な力(コミュニケーション力、基礎学力や技能、社会的スキル等)の不足が見られ、長いスパンで根気強く関わるが必要になってきています。課題が複合的である少年も多く、関係機関と連携しながら支援を行っています。

### ★少年補導委員会と連携した補導・研修・啓発活動も徐々に復活！

令和4年度は、コロナ禍で中止や制限を余儀なくされてきた活動を少しずつ再開していく1年でもありました。街頭補導・所員パトロールを合わせて82回の出動、青少年の健全育成にかかる有害図書等の立ち入り調査活動やスマートフォン等のフィルタリング利用啓発、薬物乱用防止啓発、少年補導委員会の啓発人形劇等、補導・啓発活動も予定どおり実施することができました。

今年度も、湖南省少年センター・あすくる湖南は、小・中学校や高校、ハローワークや企業など様々な関係機関と連携しながら、相談に来る少年や保護者のニーズに応えていきたいと考えています。

**不正大麻・けし撲滅運動 5月1日～6月30日**

**『ダメ。ゼッタイ。』普及運動 6月20日～7月19日**

薬物乱用問題は、人間の生命だけでなく 社会の安全を脅かす深刻な社会問題です。近年では、インターネットの普及により、大麻や危険ドラッグを安易に購入・使用する子どもや若者が増えています。滋賀県内でも、薬物乱用防止を目的とする『ダメ。ゼッタイ。』普及運動(6月20日～7月19日)を展開し、薬物乱用の怖さを伝え、その危険性を呼びかけています。今年度は6月24日(土)午後、滋賀県が主催するキャンペーンが湖南省のイオンタウンにおいて実施される予定です。この機会に薬物乱用の危険性についてもう一度確認しあい、青少年を薬物の魔の手から守る取組を進めましょう。



**今年度も、昨年度市内3校の小学生から募集した、薬物乱用防止を啓発する標語を少年センターだよりに掲載します。**

「薬物乱用防止啓発標語」

薬物は みんなの未来 失わせる

今村 美波 さん (令和4年度岩根小学校卒)

# 湖南省少年補導委員会総会・定例会を開催

5月20日(土)に令和5年度湖南省少年補導委員会総会・定例会をサンライフ甲西において開催しました。瀧岡甲賀警察署長、松浦教育長の挨拶に続いて、永年勤続功労者表彰が行われました。今年度の受賞者は下記の皆さんです。(敬称略)



永年勤続功労表彰者  
(勤続5年表彰者)  
生越 幸雄 兜 義和  
菅沼 正治 筒井 雅彦  
八太 正裕 松尾 恵美



総会に続いて開催された定例会では、令和4年度の事業の経過報告・決算報告、令和5年度の事業計画・会計予算が各役員から提案され、各議案はすべて承認されました。

少年補導委員のみなさんには、年間を通じての街頭補導や巡回指導、夏祭りでの巡回指導、着ぐるみ人形劇等での啓発活動、中学校区別の声かけ活動等、今年度も湖南省内の青少年の非行防止と健全育成のために活動していただきます。

## 今年度もお世話になる湖南省少年補導委員の皆さん

(敬称略)

会 長	武藤 敬助		
副 会 長	相宗 英明	森 智美	野口 玲子
啓発部長	渡邊 美子		
会 計	八太 正裕		
監 査 役	菅沼 正治	上西 稔治	
石部中学校区	甲西中学校区	甲西北中学校区	日枝中学校区
○筒井 雅彦 谷村 まさみ 中尾 功 服部 良隆 東出 佳己 武藤 敬助 山本 辰夫 渡邊 美子	○宮島 昌務 井上 ひとみ 井上 弘光 兜 義和 上村 清隆 多和田 貞吉 八太 正裕 森 智美 山元 由佳子	○菅沼 正治 井上 恭治 岡田 幾佐代 下村 隆一 園田 徳治 寺嶋 由美子 新里 京子 野口 玲子 船越 裕子 堀添 朋子 松尾 恵美	○上西 稔治 相宗 英明 生越 幸雄 小西 永子 牧 勝行 村上 正文 山本 美鈴  ○…地区幹事

「薬物乱用防止啓発標語」

一度だけ はまってしまうと もどれない  
中嶋 優衣 さん (令和4年度水戸小学校卒)